



## 2022年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東  
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 節生  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR部長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（国内機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年6月期第1四半期の連結業績（2021年7月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第1四半期	47,419	29.7	3,570	261.0	3,517	242.1	2,233	588.5
2021年6月期第1四半期	36,552	△21.9	989	△79.8	1,028	△83.1	324	△90.6

(注) 包括利益 2022年6月期第1四半期 2,255百万円 (—%) 2021年6月期第1四半期 50百万円 (△98.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第1四半期	45.35	—
2021年6月期第1四半期	6.59	—

(注) 2022年6月期第1四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第1四半期	295,707	170,098	55.4
2021年6月期	292,761	173,699	57.0

(参考) 自己資本 2022年6月期第1四半期 163,739百万円 2021年6月期 166,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	—	—	95.00	95.00
2022年6月期	—	—	—	—	—
2022年6月期（予想）	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	96,000	14.5	9,000	53.7	9,000	49.2	6,500	43.1	131.98
通期	210,000	14.7	26,500	54.1	27,000	50.3	18,000	21.4	365.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期1Q	49,355,938株	2021年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2022年6月期1Q	106,931株	2021年6月期	106,931株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期1Q	49,249,007株	2021年6月期1Q	49,247,220株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11
3. 補足情報 .....	12
(1) 販売実績 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用したことに伴い、「(1) 経営成績に関する説明」及び「(2) 財政状態に関する説明」における前年同期や前連結会計年度末との比較は、当該会計基準等を適用する前の前連結会計年度の連結財務諸表を基礎に算定しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

### (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2021年6月期 第1四半期	2022年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	31,225	66,280	112.3%
売上高	36,552	47,419	29.7%
営業利益	989	3,570	261.0%
経常利益	1,028	3,517	242.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	324	2,233	588.5%

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的流行の影響や米中貿易摩擦などにより先行き不透明感が拭いきれておりませんが、各国の経済対策や感染拡大防止策、ワクチン接種率増加などにより、持ち直しの動きが続いています。

当社グループを取り巻く事業環境は、半導体業界では、ファウンドリーやロジックメーカーによる先端投資の活発化やメモリ投資継続の動きがみられます。エレクトロニクス分野では、5Gの普及とともにスマート社会の実現に向けた投資や中国の国産化に向けた投資が活発化しています。フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、巣ごもり需要に対応した液晶パネル投資やスマートフォン、タブレットなどの液晶から有機ELへのシフトに対応した投資が継続するとともに、タブレットやPC、医療用・車載用・ゲーム用の有機EL大型基板量産開発への取り組みもみられます。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高は662億80百万円(前年同期比350億54百万円(112.3%)増)、売上高は474億19百万円(同108億68百万円(29.7%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は35億70百万円(同25億81百万円(261.0%)増)、経常利益は35億17百万円(同24億89百万円(242.1%)増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、22億33百万円(同19億9百万円(588.5%)増)となりました。

当社は世界各地で事業を展開しており、新型コロナウイルスの世界規模での拡大に伴う各地への移動制限などにより、当社グループの事業に一部影響が出ておりますが、状況に応じて必要な対策を講じることでその影響の最小化に努めております。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### 「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2021年6月期 第1四半期	2022年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	24,096	55,861	131.8%
売上高	29,895	39,669	32.7%
営業利益	1,101	3,534	221.1%

真空機器事業を品目別に見ると次のとおりです。

#### (FPD製造装置)

FPD製造装置は、大型液晶パネル投資やスマートフォン用有機ELパネル投資により、受注高は前年同期を上回り、売上高は前年同期並みとなりました。

（半導体及び電子部品製造装置）

半導体製造装置はメモリ投資継続やロジック向け投資の活発化、電子部品製造装置はパワーデバイス、オプトデバイス、通信デバイス等の投資活発化、中国のエレクトロニクス国産化に向けた商談活発化などにより、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

（コンポーネント）

コンポーネント事業は、半導体電子関連を中心に投資が堅調に推移、真空ポンプ、計測機器などが寄与したことで受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

（一般産業用装置）

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置、医療用凍結真空乾燥装置などが寄与し、受注高、売上高ともに前年同期並みとなりました。

その結果、真空機器事業の受注高は558億61百万円、受注残高は949億59百万円、売上高は396億69百万円となり、35億34百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

（単位：百万円）

	2021年6月期 第1四半期	2022年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	7,129	10,418	46.1%
売上高	6,657	7,750	16.4%
営業利益	△34	12	-

真空応用事業を品目別に見ると次のとおりです。

（材料）

主にFPD用スパッタリングターゲットを中心に受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

（その他）

高精細、高機能ディスプレイ向けマスクブランクス関連は前年同期並みに推移、表面分析機器関連が寄与したため、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は104億18百万円、受注残高は100億82百万円、売上高は77億50百万円となり、12百万円の営業利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりとなりました。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ、29億46百万円増加となりました。主な要因は、棚卸資産が27億97百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が13億13百万円それぞれ増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、65億47百万円増加となりました。主な要因は、契約負債が70億22百万円、支払手形及び買掛金が15億39百万円それぞれ増加した一方で、長期借入金が13億87百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、36億1百万円減少となりました。主な要因は、利益剰余金が30億37百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、契約負債の増加などのプラス要因に対し、棚卸資産の増加、売上債権の増加などのマイナス要因により、70億57百万円の収入(前年同期は75億63百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出、関係会社株式の売却による収入などにより、6億82百万円の支出(前年同期は6億70百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、長期借入金の返済などにより65億98百万円の支出(前年同期は36億11百万円の支出)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、2億12百万円減少し、828億49百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の業績予想につきましては、前回公表値(2021年8月10日)の見通しを変えておりません。

(注) 本資料に記載の業績見通し並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	91,545	91,434
受取手形及び売掛金	66,289	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	67,602
商品及び製品	4,064	4,126
仕掛品	22,785	24,800
原材料及び貯蔵品	10,309	11,029
その他	7,858	7,281
貸倒引当金	△319	△345
流動資産合計	202,530	205,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,321	27,816
機械装置及び運搬具（純額）	19,253	18,388
工具、器具及び備品（純額）	1,448	1,468
土地	8,480	8,491
リース資産（純額）	2,967	2,919
建設仮勘定	5,617	6,558
有形固定資産合計	66,086	65,641
無形固定資産		
リース資産	34	32
ソフトウェア	1,347	1,500
その他	2,115	1,887
無形固定資産合計	3,496	3,419
投資その他の資産		
投資有価証券	7,360	7,397
繰延税金資産	6,385	6,407
その他	8,763	8,772
貸倒引当金	△1,859	△1,855
投資その他の資産合計	20,649	20,720
固定資産合計	90,231	89,780
資産合計	292,761	295,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,073	37,612
短期借入金	8,508	8,741
リース債務	722	687
未払法人税等	2,182	1,996
前受金	12,659	—
契約負債	—	19,681
賞与引当金	3,048	4,262
役員賞与引当金	355	114
製品保証引当金	1,222	1,267
受注損失引当金	1,253	124
その他	11,797	11,439
流動負債合計	77,819	85,922
固定負債		
長期借入金	30,943	29,556
リース債務	2,361	2,347
繰延税金負債	42	92
退職給付に係る負債	6,968	6,748
役員株式給付引当金	198	216
資産除去債務	406	413
その他	326	316
固定負債合計	41,243	39,687
負債合計	119,062	125,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	137,573	134,537
自己株式	△343	△343
株主資本合計	162,015	158,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,174	2,121
為替換算調整勘定	4,132	3,993
退職給付に係る調整累計額	△1,422	△1,354
その他の包括利益累計額合計	4,884	4,761
非支配株主持分	6,800	6,359
純資産合計	173,699	170,098
負債純資産合計	292,761	295,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
売上高	36,552	47,419
売上原価	27,160	34,189
売上総利益	9,391	13,231
販売費及び一般管理費	8,402	9,661
営業利益	989	3,570
営業外収益		
受取利息	22	42
受取配当金	229	142
補助金収入	34	137
持分法による投資利益	91	119
その他	426	176
営業外収益合計	802	616
営業外費用		
支払利息	133	105
為替差損	39	176
新型コロナウイルス感染症対応費用	148	232
その他	443	156
営業外費用合計	763	669
経常利益	1,028	3,517
特別利益		
関係会社株式売却益	—	670
特別利益合計	—	670
税金等調整前四半期純利益	1,028	4,187
法人税、住民税及び事業税	884	1,531
法人税等調整額	△237	258
法人税等合計	647	1,789
四半期純利益	381	2,397
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	164
親会社株主に帰属する四半期純利益	324	2,233

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	381	2,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△797	△56
為替換算調整勘定	355	△204
退職給付に係る調整額	62	68
持分法適用会社に対する持分相当額	48	50
その他の包括利益合計	△331	△142
四半期包括利益	50	2,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41	2,110
非支配株主に係る四半期包括利益	91	145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,028	4,187
減価償却費	2,018	2,015
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△375	21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	850	1,190
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△45	△125
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	19
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△288	43
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△19	△793
受取利息及び受取配当金	△251	△184
支払利息	133	105
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△670
売上債権の増減額 (△は増加)	9,062	△2,337
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,967	△3,403
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,857	1,189
前受金の増減額 (△は減少)	△311	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	7,099
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45	△142
その他	2,945	1,470
小計	8,877	9,685
利息及び配当金の受取額	248	211
利息の支払額	△135	△103
法人税等の支払額	△1,427	△2,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,563	7,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△201	△4,861
定期預金の払戻による収入	2,182	4,779
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,431	△1,446
関係会社株式の売却による収入	—	700
その他	119	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	670	△682
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	24	239
長期借入れによる収入	3,700	—
長期借入金の返済による支出	△2,516	△1,379
配当金の支払額	△3,785	△4,553
その他	△1,034	△904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,611	△6,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	201	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,823	△212
現金及び現金同等物の期首残高	77,948	83,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,771	82,849

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

従来、製造装置の受注生産のうち、成果の確実性が認められる契約については工事進行基準を、その他の契約については工事完成基準を、コンポーネント及び材料については出荷基準をそれぞれ適用しておりましたが、真空機器事業及び真空応用事業における装置製造等一定の期間にわたり充足される履行義務については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に、真空機器事業及び真空応用事業におけるコンポーネント及び材料販売等一時点で充足される履行義務については、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で収益を認識する方法にそれぞれ変更しております。

なお、一定期間の履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合で算出しております。

また、コンポーネント及び材料等の国内販売においては、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は605百万円、売上原価は434百万円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ171百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は581百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示し、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」に変更しております。また、前第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「前受金の増減額」は、当第1四半期連結累計期間より「契約負債の増減額」に変更しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,895	6,657	36,552	—	36,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	773	337	1,110	△1,110	—
計	30,668	6,994	37,662	△1,110	36,552
セグメント利益又は損失(△)	1,101	△34	1,066	△77	989

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	16,291	6,327	22,618	—	22,618
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	23,378	1,424	24,802	—	24,802
顧客との契約から生じる収 益	39,669	7,750	47,419	—	47,419
外部顧客への売上高	39,669	7,750	47,419	—	47,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	797	300	1,097	△1,097	—
計	40,466	8,050	48,516	△1,097	47,419
セグメント利益	3,534	12	3,546	24	3,570

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	39,669	132.7
真空応用事業	7,750	116.4
合計	47,419	129.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
FPD製造装置	11,911	30.0
半導体及び電子部品製造装置	17,019	42.9
コンポーネント	6,891	17.4
一般産業用装置	3,847	9.7
計	39,669	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
材料	3,931	50.7
その他	3,819	49.3
計	7,750	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。